

# 令和6年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和5年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年健全育成事業			事業番号	014-131
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2 関連計画		堺市子ども・子育て総合プラン					
3 事業開始年度		平成 — 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)		青少年センター等設置条例、堺市ちびっこ老人憩いの広場助成要綱					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・指定管理者（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家の管理運営） 本庁・地域団体及び市民（ちびっこ老人憩いの広場）本庁・事業受託業者（キャンプ事業）				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	青少年施設管理運営等：堺市内の青少年（おおむね小学生（7歳）から25歳） ちびっこ老人憩いの広場：市内49箇所（令和6年4月1日現在）	対象数	約15万	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	【青少年施設管理運営・キャンプ事業】 指定管理者制度により青少年施設を運営し、貸館及び学習室の提供等一定のコストでニーズに応じたサービスを提供する。また、市内小中学生を対象にキャンプ事業実施により自然体験の機会を提供する。 【ちびっこ老人憩いの広場】 幼児に適切な遊び場を与えて事故等の危険から守ること、また、高齢者の憩いの場として両者の交流を図ることにより、幼児の健全な育成に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	【青少年施設管理運営】 市内2箇所の青少年施設（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家）の管理運営業務を実施する。 青少年の諸活動に対する貸館及び学習の場の提供。(学習、スポーツ、文化・レクリエーション活動等) 【ちびっこ老人憩いの広場】 ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体からの申請を受け、遊具、フェンス等の修繕等を助成する。 【キャンプ事業】 市内小中学生を対象としたキャンプ事業（宿泊、日帰りを年間複数回）を委託業務として実施し、子どもたちへ自然体験の機会を提供する。				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	青少年施設指定管理者、ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体、キャンプ事業受託事業者				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	青少年施設利用者数	人	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	170,000	170,000	180,000	170,000
			実績値	118,243	145,129		
達成率	70%	85%					
当該指標を選定した理由		青少年施設（堺市立青少年センター・堺市立青少年の家）の利用を促進することで、青少年の健全育成に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定人数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	稼働率（自主事業の教室等を含む）	%	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	54	55	55	
			実績値	40	41		
達成率	75%	74%					
当該指標を選定した理由		稼働率の向上により、利用者数の増加に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		指定管理業務における仕様書に記載の設定稼働率					

## 令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青少年健全育成事業	事業番号	014-131
-------	-----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	304,689	125,463	238,770	215,302	118,061	
13 財源内訳	国支出金	7,295	2,549		0	
	府支出金	3,296	4,148	5,500	3,982	5,000
	市債	91,000		89,600	74,500	0
	その他 ( 駐車場貸付収入 )	4,684	11,057	6,401	6,288	6,307
	受益者負担金(使用料、手数料等)	537	131			0
	一般財源	197,877	107,578	137,269	130,532	106,754
14 人件費 (b)	3,530	3,640	3,600	0	0	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	308,219	129,103	242,370	215,302	118,061	

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源	
16 事業費内訳	R5 決算	93,688	92,068	92,068	ちびっこ老人憩いの広場修繕、工事費	R5 決算	2,810	1,810	1,810
						R6 予算	99,041	92,734	92,734
	R5 決算	5,363	5,363	5,363	キャンプ事業	R5 決算	2,420	0	0
						R6 予算	4,452	4,452	4,452
	R5 決算	108,052	28,552	28,552	子ども教育ゆめ基金積立金	R5 決算	0	0	0
						R6 予算	4,500	4,500	4,500
	R5 決算	0	0	0	その他	R5 決算	2,915	2,685	2,685
						R6 予算	0	0	0
	R5 決算	54	54	54		R5 決算			
						R6 予算	70	70	70

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① 青少年施設利用者数	人	118,243	145,129
② 上記①にかかる年間経費	千円	96,991	93,688
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	820	646

備考 (算出についての説明等)

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>【青少年施設管理運営】 令和4年度に比べ、青少年施設利用者数が増加し、単位当たりの経費が減少している。利用者数及び稼働率が目標値を下回っており、今後は指定管理者の創意工夫等により、利用者数及び稼働率の向上を図り、費用対効果を上げる。</p> <p>【ちびっこ老人憩いの広場】 広場の修繕等対応について、遊具やフェンスなどの老朽化の状況や、各地域のニーズ等を勘案し、危険性の高い遊具の撤去やフェンスの修繕等に対応している。引き続き、予算の範囲内で広場の安全安心の確保に取り組み、また、活用されない広場については廃止等を進めるなど、費用対効果を上げる。</p> <p>【キャンプ事業】 実施した企画の多くの回で申込者数が定員を上回り、またアンケート結果では高評価を得ている。</p>
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>【青少年施設管理運営】 青少年施設の貸室や学習室の提供等を通じて、青少年の健全育成を推進し、幼児の安心な遊び場を確保するための修繕等により、学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援に寄与している。</p> <p>【ちびっこ老人憩いの広場】 遊具等の修繕助成により、幼児の遊びの場及び高齢者の憩いの場としての危険リスクを減らし、両者の交流を図ることで幼児の健全な育成に寄与している。</p> <p>【キャンプ事業】 豊かな自然環境の中で新たな仲間とキャンプ活動を行う機会を創出することで、他者との協働体験を学び、こどもたちの生きる力の育成に寄与している。</p>
----	---